

国立病院機構米沢病院 公的医療機関等 2025 プラン

平成 29 年 8 月 策定

【米沢病院の基本情報】

医療機関名： 独立行政法人国立病院機構米沢病院

開設主体： 独立行政法人国立病院機構

所在地： 山形県米沢市大字三沢26100-1

許可病床数： 220床

（病床の種別）

一般 220床（障害者施設等入院基本料10：1）

（病床機能別）

慢性期 220床

稼働病床数： 220床（9月1日現在）

（病床の種別）

一般 220床（障害者施設等入院基本料10：1）

（病床機能別）

慢性期 220床

診療科目：内科・神経内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・漢方内科・
小児科・精神科・外科・整形外科・脳神経外科・リハビリテーション科
放射線科・歯科・

職員数：213人 9月1日現在

- ・ 医師（医一） 8人
- ・ 薬剤師等（医二） 24人
- ・ 看護職員（医三） 121人
- ・ 福祉職 10人
- ・ 療養介助職 7人
- ・ 事務職員等 43人

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

(1) 当院の構想区域・構成市町村

構想区域	置賜構想区域
構成市町村	米沢市、長井市、南陽市 小国町、飯豊町、白鷹町、川西町、高畠町

(2) 将来人口・医療需要

構想区域の人口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2025年の総人口は、2015年の214,624人から190,869人まで減少（2015年比較89%）。 ・ 2025年人口構造の変化として、高齢化が進み、高齢者人口は2020年をピークに上昇し、高水準（2015年の104%）を維持していくが対照的に現役世代（15～64歳）が大幅に減少していく。（2015年比較85%）
構想区域の医療需要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少に伴い、医療需要（入院患者数）も減少する見込みであり、病床数も2015年許可病床 2,179床（高度急性期30床、急性期1,113床、回復期510床、慢性期511床）が、2025年の必要病床1749床と減少する。（2015年比較84.6%） ・ 病床としては、急性期病床（610床 2015年比較54.8%）と慢性期病床（407床 2015年比較79.6%）が過剰となり、回復期病床（573床 2015年比較112.4%）と高度急性期病床（159床 2015年比較53.0%）が不足すると見込まれている。

(3) 構想区域における病床数

- ・ 置賜構想区域における報告病床数（現状及び6年後）、2025年必要病床数は以下のとおりである。
- ・ 現在の予定病床と2025年の必要病床数を比較すると高度急性期と回復期が不足し急性期と慢性期が過剰になっている。各病院は、今後、急性期・慢性期から高度急性期・回復期への転換が求められることが予想される。

置賜地域医療構想区域		慢性期	回復期	急性期	高度急性期	合計
病床数	現状報告数 (2015年)	526	510	1,113	30	2,179
	6年後の予定 (2021年)	526	510	1,113	30	2,179
	2025年 必要病床数	407	573	610	159	1,749
2025年と6年後の予定 との差分		▲119	63	▲503	129	▲430

※（2）、（3）第6次山形県保険医療計画、山形県地域医療計画計画別冊（地域医療構想 素案）より引用

② 構想区域の課題

- (1) 置賜構想区域の人口減少に伴う医療需要（入院患者）の減少のため、区域として、病棟の集約を行い、過剰病床と予想されている急性期病床・慢性期病床の削減と不足が見込まれる高度急性期病床・回復期病床の増床についての検討が必要な状況となっている。
- (2) 置賜構想区域における人口規模、限られた医療資源の中で、全ての疾病に対する医療提供を区域内で完結することは困難な状況であり、肺がんや乳がん等化学療法、放射線治療が必要な患者や糖尿病・小児医療・周産期医療の一部については他構想区域の医療機関での治療が必要な状況となっている。
- (3) 置賜構想区域では、産婦人科医の不足や高齢化から分娩の取扱いをやめた病院診療所があり、現在は6施設しかなく、妊婦の遠距離通院となっている地域もある。また、M F I C U や N I C U を有する医療機関がないため、緊急かつ高度な周産期医療が必要な場合には、他構想区域との三次周産期医療機関との連携が求められている状況であるため、区域としては、病床集約や、周産期医療・N I C U の整備等、将来に向けての各医療機関の整備や対策について議論されている。
(地域医療構想置賜検討部会)
- (4) 基幹病院が公的病院であるため、救急患者の選択等の問題はないが、軽症であっても二次救急、三次救急医療施設を受診する患者が多く、受入医療機関及び担当医師の負担が大きい状況であるため、改善に向けた取り組みが必要な状況となっている。

※②第6次山形県保健医療計画、山形県地域医療計画計画別冊（地域医療構想 素案）より引用

③ 自施設の現状

(1) 国立病院機構及び米沢病院の理念、基本方針等

【国立病院機構の理念】

私たち国立病院機構は国民1人ひとりの健康とわが国の医療向上のためにたゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。

【米沢病院の理念】

わたくしたちは、みなさまの権利を尊重し、患者様中心の医療を行います。

私たちの6つのお約束事

(尊重)みなさまの権利を尊重した医療をめざしています。

(愛情)みなさまが満足していただけるように愛情を持った医療を心がけています。

(信頼)みなさまから信頼されるように最善の努力をしています。

(向上)あらゆる技術の研鑽と向上に最善の努力をしています。

(希望)みなさまが希望をもてるような、みなさまが望む医療をめざしています。

(誠実)いつでもどこでも誠実に対応するようにしています。

(2) 診療実績 (届出入院基本料、平均在院日数、病床稼働率)

(届出入院基本料) 障害者施設等入院基本料 10 : 1

(平均在院日数) 580.5日 (9月1日現在)

(病床稼働率) 92.7% (9月1日現在)

(3) 米沢病院の特徴

当院は、山形県南(置賜地域)における中枢神経疾患の基幹施設に位置づけられており、脳卒中重度後遺症、重度心身障がい、神経難病医療において中心的な役割を果たしている。特にALS(筋萎縮性側索硬化症)に関しては訪問診療・レスパイト・長期入院療養と様々な要望に応じた診療を実施している。

また、3.0テスラMRIを有し、脳ドック学会による施設認定を受け、米沢市の脳ドック健診による脳卒中予防事業にも参加し、脳血管障害及び認知症の早期発見と予防に貢献している。

(4) 米沢病院の担う医療

- ・重症心身障がい児(者)医療(置賜構想区域唯一の入院施設)
- ・神経難病医療(置賜構想区域の中枢神経疾患の基幹施設)
- ・脳ドック実施による脳血管障害・認知症予防事業(米沢市脳ドック助成事業参加)

① 自施設の課題

・当院は置賜地域唯一の重症心身障がい者の入院施設であり、置賜医療圏のみならず、山形県南部及び福島県北部の重症心身障がい医療を担っており、この慢性期機能を維持し、地域の医療ニーズに応じていくために、医師の確保、看護師の確保及び育成が必要。

【2. 今後の方針】

① 地域において今後担うべき役割

- ・山形県南（置賜地域）における中枢神経疾患の基幹施設として、脳卒中重度後遺症、重度心身障がい、神経難病医療において中心的な役割を果たしており、特にALS（筋萎縮性側索硬化症）に関して訪問診療・レスパイト・長期入院療養と様々な要望に応じた診療を実施するため、慢性期機能を維持していく。
- ・脳血管障害及び認知症の早期発見と予防について、米沢市の認知症予防事業の中心的役割を担っており、日本脳ドック学会の認定施設として、現在の医療水準（3テスラMRI・常勤放射線科医師）を維持していく。
- ・米沢病院は、置賜地域唯一の重症心身障がい児（者）の入院施設であり、置賜医療圏のみならず、山形県南部及び福島県北部の重症心身障がい医療を担っており、慢性期機能を維持していく。

② 今後持つべき病床機能

- ・地域医療構想のもとで慢性期病院の役割を確実に果たしていくことが求められている。在宅療養支援のためにかかりつけ医と連携して短期間の入院治療や検査入院を実施していくケースの増加が予想されるので、その場合のシステム化整備が課題である。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期	220床		220床
(合計)	220床		220床

<年次スケジュール>

※ 変更予定なし。

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度			
2018年度			
2019～2020年度			
2021～2023年度			

② 診療科の見直しについて

診療科の見直しは行わない。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率： 90%以上
- ・ 入院患者数： 200名

経営に関する項目*

- ・ 人件費率： 68%未満
- ・ 経常収支率： 108%以上

【4. その他】 (自由記載)

特になし。